

2020.12.20

# 私はマスクをしません あなたも外してみたら？

ワクチン反対市民の会

あなたは、今、マスクなしで外出できますか？子どもたちに「マスク、持った？」と声をかけないでいられますか？ マスクなしの生活が再び戻ると信じられますか？

私たちはみなマスク依存症です。でも、多くの人はまともに「マスクでウイルス感染を防げる」と思っているわけではなく、「みながしているから」なのです。いわば付和雷同。

私はマスクをしません。マスクは無意味で、人の健康を害すること、市民権を奪う口実にされているのを知っているからです。再び出てきた「コロナ緊急事態」を招いたのは、大人しくマスクをし続けている私たちです。事実を知り、拒むべきは拒みましょう！

## 1.マスクでウイルスは防げない

ウイルスはナノ（10億分の1メートル）レベル。マスクがどれほど高品質でも、電子顕微鏡で見なければわからない小さなウイルスを防ぐことはできません。逆に、ウイルスを寄せ付けないマスクは、通気性が極めて低く、呼吸そのものを妨げ、窒息死を招きかねません。例えばN-95マスクを常用している医療関係者は頭痛に悩まされている人が多いことが報告されています。また、それを着用して運動していた中学生が突然死した中国の事件（2020.4）は、酸素不足による窒息死が原因だったとされています。

## 2.マスクの「有効性」は証明されていない

それでも「政府が着用を指示している以上、マスクは感染予防に役立つはず」と思う人もいるでしょう。でも、市民の99%がマスクを常用していても、コロナ第2波、第3波は防げませんでした。それに、マスクの有効性は科学的に論証されていません。逆に、昨2020年初めて行われたランダム化比較試験では、マスクの有効性が否定されたのです。

## 3.コロナ感染者はマスク常用者の方が多かった

その研究は、「マスクの有効性を示す根拠はない」と、マスク義務付けを拒否したデンマークで行われました。6千名を対象にマスク着用者と非着用者のコロナの感染率を調べたところ、両者とも1.8%とほとんど差はなかったのです。さらに衝撃を与えたのは、米CDCが、コロナ患者の実に85%が「常に」「よく」マスクをつけていたとする調査報告でした。マスクは感染を減らすどころか、感染を拡大させていたのです。

## 4.なぜマスクが感染のリスクを増やすのか

マスクをしなければ、吸った息に含まれる細菌や異物は、鼻粘膜の繊毛などにとらえられ、くしゃみや咳などで自然に体外に排出されます。マスクをするとその自然のフィルターや換気機能がうまく働かなくなってしまいます。さらに重要なのは、呼吸器官に密着させて使うマスクはすぐに汚染されること。マスク着用者は、二酸化炭素の多い自分の呼気と共に、無数の微生物や化学物質で汚れた空気を吸い込んでいるわけです。

コロナ対策のはずのマスクで、実は汚染空気を吸わされている…そこには強い悪意があります。なぜなら、世界で毎年900万人以上もの人々が大気汚染で亡くなっているからです。毎年。つまり、大気汚染はコロナ問題よりも深刻ですが、世界はこの問題を意図的に無視してきました。そして今、汚染空気を吸うよう人類に推奨しているのです。

## 5.マスクによる「酸素不足」は深刻だ

マスクは自然の呼吸を妨げ、吸い込む酸素の量を減らすため、そこには恒常的な酸素不足が起きます。この酸素不足は、身体の各器官が未発達の赤ちゃん・幼児や、代謝能力が高い青少年に回復不能なダメージを与えます。彼らの若い脳は大量の酸素が必要で、それがなければ、特定の時期に起こる器官の分化や成長も、細胞の発達もうまくゆきません。子どもの健康にマスクは重大な悪影響を与えます。

## 6.マスクは「政治」

WHO：「健康人にマスクは勧めせない。なぜなら、マスク着用にメリットがあるとはこれまで考えられてこなかったからだ…一般市民による大規模マスク着用が何かの利益をもたらすことを示す証拠もない…」、米軍医総監：「医療関係者でない限り、マスクを着用するとコロナ感染のリスクが高まります。適切な着用法を知らない人はやたら顔に触れる傾向があり、それによって、コロナウイルスを拡大してしまうのです」、米NIAIDファウチ医師「人々はマスクをつけて行動すべきではない」「マスクをつけて動く理由なんかまったくない」「アウトブレイクの最中、マスクをつければ安全と感じるかもしれないが、みなが考えているような防止効果はない」「逆に思ってもいなかつた結果も出てくる」

その後、政治的圧力によって彼らは一斉にマスク派に変わりました。「科学」は、金と政治でいくらでも変わります。マスクも「コロナ」も「政治」です。

## 7. 「同調圧力」「群集心理」「集団催眠」にだまされるな

「コロナウイルス」は社会体制改変 (Great Reset)のためのソーシャルエンジニアリングのツールです。あなたは「コロナ」は一過性の、感染症の問題だと思っていませんか？それは間違います。パンデミックの「恐怖とショック」は、普通なら人々が決して受け入れない「改変」を受け入れさせるための作戦です。…人々は、未経験の事態に直面して、とりあえず「お上」の言うことを聞こう、他の人と同じ行動をとろうとしますが、事態の長期化に伴って、一時的な対策をやがて恒久ルール・常識にするというシナリオがあり、それは隠されてさえいません。つまり、「コロナ」は市民に対する宣戦布告なのです。

…だから、たとえたった一人でも、あなたがマスクを外すのは重要です。それは「だまされないよ」という意思表示であり、反撃の口火になるからです。

(このチラシはジャーナリスト、山本節子が作成しました。質問やご意見は <http://wonderful-ww.jugem.jp/> あるいは <https://ja-jp.facebook.com/NoVaccineatKanagawa> まで)

### マスク着用であなたの身体に起こること

(Russell Blaylock MD の文章をうんと単純化したものです。正式な翻訳は上記ブログを見てね)

マスク常用者の約3分の1が頭痛を起こし、あるいは頭痛が悪化し、その治療のために60%が鎮痛薬を求めていたという研究がある。多くの場合、原因はマスク着用による低酸素症(hypoxia、血中酸素の低下)、あるいは高炭酸ガス血症(hypercapnia、血中CO<sub>2</sub>上昇)だった。

特にN95マスクは、数時間の着用で、血液の酸素化が最大20%減少することが知られている。意識を失う場合もあり、高齢者や肺機能が衰えた人では、マスクを着けることで肺機能が深刻に悪化する可能性がある。この場合、失神して頭を打ち、死亡することもあるだろう。

血中酸素濃度が下がると免疫力も下がる。低酸素症によって、感染と戦う主な免疫細胞(CD4+Tリンパ球)が阻害され、それと逆の、免疫機能を抑制する細胞(Tregs)が刺激されるからだ。こうなるとコロナだけでなく、あらゆる感染症にかかりやすくなる。また低酸素症は炎症を起こすため、がん患者ではがんの成長、転移が促進され、心血管疾患(心臓発作)、脳血管疾患(脳卒中)を増加させる。また、外に逃げ出せずマスク内にとどまつたウイルスが、鼻腔に集中し、嗅覚神経に入り、脳に移動することを示す新しい研究もある。要するに、マスク着用は、あなたの感染のリスクを非常に高め、着用しなかったよりはるかに悪い結果をもたらしかねない。